

2020年度 1学年通信

「探そう！自分の輝くブンヤ」



甲府東高等学校
2020.11.27(金)
第9号

「本年度の目標」

1学年主任 小林 文弥

本校近くの名もない小川の近くを通ると思い出すことがある。高校時代、小遣い銭欲しさに土木作業のアルバイトをしてコンクリートを打った場所だ。どういう縁でそのアルバイトを知ったのか詳しくは覚えていないが、全然知らないおじさんたちに混ざって金属板を運んだり、コンクリートを掻いたりした。やっていることは単純で、それなりに力自慢だった私は、初日から「捕らぬ狸の皮算用」を始めていた。10日間働けばこのくらいお金が入ってきて、こんなことに使おうなどと夢は広がるばかりだった。

ところが、その日の午後になってくると体力も落ち、金属板を運ぶペースも午前中の半分くらいに落ちてきた。そんな私を尻目に、知らないおじさんたちは黙々と作業を続けている。「あんなおじさんたちに負けてたまるか！こっちはバリバリの10代なんだ！！」と歯を食いしばって、やっとその日を終えた。翌日も同じ作業が続いたが、昨日休みだった見知らぬおばさんが出勤し、見知らぬおじさん同様黙々と力仕事をこなしている。さすがに、この人には負けられないともう一度気を取り直して働いたが、明らかに作業量はおばさんの勝ちだった。

3日目、気持ちばかりが焦るものの、どう考えても高校生の私は他のレギュラーおじさんおばさんとは違い、二軍扱いされるようになった。見知らぬ老人の分担であった、鉄板のコンクリートはがし作業に回されたのだ。そこでも老人は私の作業量を超え、私の能力はこの現場では三軍以下であることが証明された。

筋肉痛と挫折感に苦しめられながら一週間のアルバイトを終えて、その週の給料をもらい私はアルバイトを辞めた。工事は淡々と進められ、1か月後には見事な小川が出来上がっていた。

この話に込めたメッセージは、「向かない仕事は世の中には存在する」ということである。肉体派なのか頭脳派なのか、営業なのか事務なのか製造なのかなどなど、やってみないとわからないことばかりだ。向かない仕事に就いた時の悲劇は、就いたものでなくてはわからない。アルバイトはさすがに高校時に簡単にはできないので、部活や学習活動やその他の日常から自分の適性を探してください。なんといつても今年の学年目標は「探そう！自分の輝く分野」なのだから。

～月間予定表～



日	月	火	水	木	金	土
11/29	30	1	2 ▲	3	4	5 土曜講座(1年) SOW(1-6)
6	7	8 キャリア教育事業 SOW(1-6)	9 ▼	10	11	12 土曜講座(全)
13	14	15	16	17 ▲	18	19
20	21	22	23	24 ①～③授業 ④納め式/全校集会 ⑤大掃除⑥LHR	25 理数コース学習会	26
27	28 理数コース学習会	29 完全閉庁	30 完全閉庁	31 完全閉庁	1 完全閉庁	2 完全閉庁

【1学年リレー通信】

「なんとかなる」

1年2組副担任 仲嶋 恵

4年前、当時小学生だった息子が近所の広場から子猫を拾ってきた。物心ついた時から「ねこかいたい！」と言われ続け、そのたびに何とか誤魔化してきたが、遂に強行突破されてしまった。しばらくすれば逃げ出すだろうと期待していたが、その期待も見事にはずれ本格的に飼うことにした。カブトムシと金魚以外飼った事がない私たちは、ネット検索しながら何とか形を整えた。（おかげで私へのおすすめ記事のほとんど猫関連になってしまった。）言葉が通じないので観察が欠かせない。キャットフードもいろいろ試してよく食べる数種類が決まった。音に敏感で本棚の隙間や冷蔵庫の上など隠れる場所の目処もついた。爪とぎの場所も定まった。徐々に行動パターンが掴め、膝の上にすわった猫を撫でながら日向ぼっこする姿を夢見ている。・・・が、甘かった。一年前、我が家の猫の鳴き声を聞きつけた一匹の子猫がやってきた。（野良か捨て猫かは不明）この3年間で猫に慣れたと勝手に勘違いした私たちはこの猫も迎え入れてしまった。落ち着きつつあった猫との生活もまた一から始めることになった。新入りは少しだけ病気を持っていたので動物病院へのデビューもした。二匹に増えたがなんとかなるものだ。先住猫は脱走しても家の敷地から出ることはなかったが、新入りはどこへでも行ってしまふ。一晩中見つからないこともあったが、翌朝にはちゃんと家の入口で待っている。「なんとかなる」ものだ。猫の事だけではない。これまで何か心配事があっても「なんとかなっている」。いや、「なんとかしている」のか「なんとかしてくれているの」か、大体のことは「なんとかなっている」。しかしよく考えてみると、なんとかなっているのは決して運や偶然ではない。なんとかなる理由があるのだ。自分の努力や周囲の支えなしにはなんとかならないのだ。でもやっぱり行き詰まった時にはつぶやきたい。「なんとかなる」

